

奈弓連だより

通巻 213号

令和元年 11月号

発行 奈良県弓道連盟

会長 西中 正

編集担当 野尻賢司 山本悦子

連絡先：henshu@narakyudo.jp

全国遠的選手権大会

西田ゆり選手 決勝進出するも入賞ならず

10月19日から20日まで全日本弓道連盟中央道場で第70回全国遠的選手権大会が開催され、奈良県代表として女子では西田ゆり、揚田よう子選手が、男子では藤岡順、吉本清巳選手が出場されました。

予選は1回目一手2射、2回目二手4射、合計6射で競われ、女子の部で、西田選手は5中で決勝進出しました。決勝は一手5回合計10射で行われ、西田選手は4中と健闘されましたが、残念ながら入賞には届きませんでした。(事務局)

奈良県弓道近的選手権大会

男子 山口亮二選手、女子 平井摂子選手が優勝

第22回近的選手権大会が11月3日(日)に橿原公苑弓道場にて開催されました。男子59名女子53名合計112名と多数ご参加頂き、20射の予定を16射に変更しての実施となりました。結果は次の通りです。

男子 優勝 山口 亮二 (生駒) 15中
2位 岡 雅佳 (香芝) 13中 遠近競射に
3位 西中 正 (五條) 13中 より決定

女子 優勝 平井 摂子 (郡山) 13中
2位 脇阪 佳工 (香芝) 11中 遠近競射に
3位 東中 千佳 (橿原) 11中 より決定
(競技部 西田ゆり)

全国健康福祉祭和歌山大会

ねんりんピック紀の国わかやま 2019に参加して

全国の高齢者がスポーツ・文化活動を通じて交流する第32回全国健康福祉祭和歌山大会 ねんりんピック紀の国わかやま 2019は11月9日、雲一つない秋晴れの中、和歌山市の紀三井寺公園陸上競技場での総合開会式で開幕しました。開会式には三笠宮家の彬子さまがご出席になり、盛大に入場行進が行われました。

今回、奈良県シニア代表に選ばれたメンバー【山本元祥(監督兼務)・明崎静代・森昌彦・鳥山依子・西尾信行】は、当初からつまずきの連続でした。まさに病氣と手術のオンパレードです。これがシニアなんだな、これが年を重ねるといふ事なのだと思知らされました。吉本先生が常々話されている「弓を引ける幸せ」というお言葉はこのメンバー全員がしみじみと体感

赤松順次さんが教士候補者に！

11月1日に開催された【東京】定期中央審査会において赤松 順次(郡山支部)さんが教士候補者に選ばれました。論文審査の後、教士に昇段される予定です。

おめでとうございます。

(事務局)

したのではないのでしょうか。

5月の奈良県予選会では、入院手術のため5人のメンバーが揃わず、4人で出場したにもかかわらず、連盟からは「それでもやってみなはれ」というチャンスを与えられました。そうすると「やってやろうじゃないか」と気持ちに意欲が湧いてきます。しかし、その意欲に水を差すかのように、またもメンバーの病気でメンバーの交代、入院手術で順繰りにメンバーが欠ける中、とにかく機会を見つけては練習をしようと猛暑の中でもできる範囲で頑張りました。

大会の結果は、予選65チーム中最下位という、考えてもいない結果に終わりました。県連の皆様の期待に全くお答えできず、弁明のしようもございません。ただ、和歌山での大会参加を楽しむことはできたと思います。ちなみに見事優勝を飾ったのは開催県の和歌山Aチームでした。

最後にこの大会に5月のシニアフェスタから携わっていただいた連盟の役員、サポートの方々、長い間、練習にご協力いただいた橿原支部メンバーをはじめシニア会員の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。



ねんりんピック紀の国わかやま 2019に参加した
県代表チームの選手たち (橿原支部 鳥山依子)

第二回審査講習会

「講習会には審査に臨む気構えで臨んでほしい」

令和元年10月20日(日) 榎原公苑弓道場にて中央審査受審者対象に講習会が開催され、36名が受講しました。主任講師は吉本清信先生、講師は須田三郎先生。

吉本主任講師「最近の審査は中らないと受からない。中った射で評価される。講習会の初めに悪いところを出して後で直してもらおうという気ではなく、審査に臨む気構えで臨んでほしい。最初の一本を特に大事にしてほしい」須田講師「目使い、三重十文字への意識を持ってほしい。射形は三段の基準。合格基準を見直し、責任と自覚をもってほしい」さらに、今回は全員による一手行射的中や射の出来栄によって、1回だけ行われる一つの射、その後の射技指導の回数が決まることもあり、ただ引くだけではなく、審査を強く意識した講習会であること、射技の向上をという講師陣の思いを強く感じる講習会となりました。

【講習内容】

- ・ 全員による一手行射、その後の講評
- ・ 吉本主任講師による射技指導 (六段・教士・七段以上受審者)
- ・ 須田講師による持ち的射礼指導 (錬士受審者)
- ・ 吉本主任講師による射技指導 (錬士受審者)
- ・ 須田講師による一つの射礼指導 (東中、中井、赤松受講生)
- ・ 須田講師による射技指導 (六段・教士・七段以上受審者)

時間いっぱいまでの中上位者から順に指導を受けることができました。

今回は特に中たらなければ審査対象とならない、という講師の先生方の強い思い、良射が出るように努力しよう、一時も無駄にしないという強い姿勢を感じました。



射技指導をされる吉本主任講師

【見取り稽古の仕方について】

講師の先生方から注意をいただいています。師範席からの覗き込み、壁にもたれる、だらしなく座る、他の人の射を見ずに話しこむなど、先生方は指導をしながら

らでも見ておられていました。先生方の声の聞こえる場所、指導の見える場所からどのような射に対して、どのような指導がなされているのか、一本一本集中してみる事をしなければもったいない。熱心に指導してくださっている先生たちに対して、私たち受講生も指導を受けている時だけでなく、もっと真剣に同じ熱量で向かい合えるようにしたいものです。



一つの射礼を指導される須田講師

【講評】

須田講師「指導された後に巻き藁2~3本ですぐのに向かうのではなく、もっと徹底的に直そうとする事も必要なのではないか。自分の求められているものが何かよく考えてほしい。一緒にやっている人を大事にすること、自分も大事にしてもらうこと。気遣いをしっかりしてほしい。」

吉本主任講師「三重十文字と胴造りをしっかりして。射品・射格などそれぞれの求められているものを普段の日常生活の中でも心がけて。一緒にやる人への気配りは一つの時だけでなく、射会や催しなどの時にも必要であり、お互いを気遣うことが大事。弓をやってよかったと思えるようにしてほしい。」

(指導部 松澤和実)

全国高等学校弓道選抜大会兼近畿高等学校弓道選抜大会県予選

団体は男子 平城高、女子 高田商業高が1位

10月26日・11月2日に榎原公苑弓道場で第37回全国高等学校弓道選抜大会兼第27回近畿高等学校弓道選抜大会が開催されました。結果は次の通りです。

男女団体個人・予選 (10月26日に実施)

各自8射 団体は3人立 計24射 上位8校が予選通過 個人は女子4中以上・男子5中以上が予選通過

女子団体予選

- | | |
|------------------|-------------|
| 15中 高田商業 | 14中 榛生昇陽・榎原 |
| 13中 奈良・畝傍・西の京 | 12中 郡山 |
| 10中 桜井(3校の競射による) | |

男子団体予選

- | | |
|----------------|------------|
| 16中 榎原 | 15中 平城 |
| 14中 奈良 | 13中 西の京・桜井 |
| 12中 王寺工業・法隆寺国際 | 11中 桜井 |

個人予選

女子 34名 男子 24名 通過

個人準決勝・決勝、団体2次予選リーグ・決勝リーグ (11月2日に実施)

個人準決勝 (各自4射3中以上通過)

女子9名 男子9名通過、決勝射詰により

女子個人決勝

- 1位 柏木 都 高田商業 2位 北浦有希 五條
3位 川元実来 法隆寺国際 4位 廣田 愛 高田商業
5位 落合珠梨 郡山 6位 森田菜月 檀原
7位 二階堂ウララ 西和清陵
8位 沼田優美香 榛生昇陽



個人女子入賞者 右から 1位から8位の選手たち

男子個人決勝

- 1位 植田力斗 奈良 2位 松尾 准 平城
3位 森川雄斗 平城 4位 植田竣飛 檀原
5位 松山 鼓 奈良高専 6位 新山章太郎 奈良北
7位 稲岡勇仁 郡山 8位 渡邊 幹 奈良高専

団体2次予選リーグ

予選通過8校を4校ずつ2リーグに分けて総当たりのリーグ戦を行い、上位2校ずつで決勝リーグを行う。

女子2次予選Aリーグ

- 1位 高田商業 2勝1敗 2位 桜井 2勝1敗
3位 西の京 1勝2敗 4位 奈良 1勝2敗

女子2次予選Bリーグ

- 1位 檀原 3勝0敗 2位 榛生昇陽 2勝1敗
3位 畝傍 1勝2敗 4位 郡山 0勝3敗

決勝リーグ

- 1位 高田商業 3勝0敗 23中 2位 檀原 2勝1敗 27中
3位 榛生昇陽 1勝2敗 13中 4位 桜井 0勝3敗 15中



団体女子入賞校 前列右 1位高田商業 左 2位檀原
後列右 3位榛原昇陽 左4位桜井 の選手たち

男子2次予選Cリーグ

- 1位 檀原 3勝0敗 2位 高田商業 2勝1敗
3位 桜井 1勝2敗 4位 西の京 0勝3敗

男子2次予選Dリーグ

- 1位 平城 2勝1敗 2位 奈良 2勝1敗
3位 法隆寺国際 2勝1敗 4位 王寺工業 0勝3敗

男子決勝リーグ

- 1位 平城 3勝0敗 26中 2位 奈良 2勝1敗 23中
3位 檀原 1勝2敗 18中 4位 高田商業 0勝3敗 19中



個人男子入賞者 右から 1位から8位の選手たち



団体男子入賞校 前列右 1位平城 左 2位奈良
後列右 3位檀原 左 4位高田商業 の選手たち

女子団体入賞校

- 1位 高田商業 (竹原・柏木・廣田・都築)
2位 檀原 (森田・池田・平松・大和田)
3位 榛生昇陽 (沼田・吉田・桶谷・倉田)
4位 桜井 (奈加・尾松真・井岡・米川)

男子団体入賞校

- 1位 平城 (植西・井岡・松尾・横尾)
2位 奈良 (植田・梶浦・竹中・岸本)
3位 檀原 (宮崎・田中・松岡・植田)
4位 高田商業 (西川・安田・吉川・松本)

男女とも団体1位・個人1位2位は、12月23日～
ALSOK ぐんまアーナ弓道場で行われる第38回全国
高等学校弓道選抜大会に出場します。

男女とも団体1位から3位・個人1位から6位(男子
は奈良高専を除くため7位)は、11月24日大阪城公
園弓道場で行われる、第27回近畿高等学校弓道選抜
大会に出場します。

(高体連 藤村佳照)

茨城国体を終えて：

この経験を通して感じた喜びや悔しさは、きっとこれからの彼女たちの人生を支える力になる

奈良県立五條高等学校 川崎敦子

このたび、国体少年女子の監督をさせていただけたことをとても光栄に感じています。西中会長をはじめ、奈良県弓道連盟の多くの皆様から応援や激励をいただき、そのおかげで茨城国体では少年女子近的の部で5位入賞という成績を残すことができました。心より感謝申し上げます。

今年の国体女子チームは、非常に実力のある選手がそろい、全国優勝という高い目標を掲げて練習に励みました。選手同士が互いに悩みを分かち合い、励まし合い、切磋琢磨しながら成長していく姿を見ていると、高校生がもつエネルギーや可能性の大きさを改めて感じました。

茨城国体を振り返ると、心に残る場面がたくさんあります。近的の予選では、同中競射となり、異様な緊張感が漂う中でも平常心を保ち、全員が的中して予選通過が決まったときは、彼女たちの集中力や心の強さを感じました。また、遠的では、なかなか思うようにはいかず苦勞しましたが、練習結果を冷静に分析し集中力を高め、本番では自分たちの力をしっかり出し切り、予選9位と健闘してくれました。そして、遠的の悔しさをばねに臨んだ近的決勝トーナメント1回戦は、絶対に負けたくないという気持ちで臨みましたが、10中対9中で敗れ、準決勝に進むことはできませんでした。5位入賞が決まってからも、彼女たちの目からは涙があふれ、どんな言葉をかけても涙が止まることはありませんでした。控え室に戻り、四人並んでモニターで決勝戦を見ていると、ここに至るまでの彼女たちの努力やともに過ごしてきた日々を思い、私も自然と涙があふれてしまいました。このチームで優勝したかった、もっと一緒に戦いたかった、誰も言葉にはしませんでした。みんな心の中でそう思っていたように思います。

近畿ブロックから本国体まで、補欠の2名を含め国体候補選手として選ばれた5名がこの経験を通して感じた喜びや悔しさは、きっと彼女たちの人生を支える力になると思います。これからもそれぞれの舞台で彼女たちが活躍してくれることを心より願っています。そして、私も高体連弓道専門部の一員として、これからも多くの方に応援していただける選手を育てていけるよう精一杯努力していきたいと思っています。

奈良県立郡山高等学校 落合珠梨

国民体育大会に参加できてよかったという思いが一番にあります。いつもと違った環境の中で、いつも通りの自分の弓道をするのは難しいということを改めて

思いました。あれだけの大きな舞台で、緊張していない高校生はほとんどいないけど、その中でもきちんと中てている人は多くいました。私も周りに左右されない弓道をしたかったです。今回の経験は私にとってすごく大きなものです。絶対に無駄にせず、これからの弓道に生かしたいです。

奈良県立郡山高等学校 植木鈴華

私の目標は国民体育大会に出場することでした。私は2年の時も候補選手になっていましたが怪我をしまして悔しい思いをしたので、今回選手に選ばれて国体出場が決まった時は本当に嬉しかったです。

茨城では練習の調子はよかったのですが、試合本番では今までにないほど緊張してしまい予選での射は散々でした。みんなの足を引っ張ってしまい、自分の無力さを痛感しました。調整を済まし、競射ではチームの流れがよくなり予選を通過でき泣くほど嬉しかったです。決勝1回戦は、負けてしまいましたが順位決定戦では気合いを入れ直し「自分が当ててみんなで5位を勝ち取る」と思って全部中てることができました。

今回の試合は全部が全部上手くいった訳ではないですが、自分の弓道は全国の舞台でも通用するのが実感できてとてもいい経験ができました。これからも更なる上を目指して、弓道を続けて行きたいなと思います。

奈良県立平城高等学校 吉田実莉

国体選手に選んで頂いた時、本当に自分が国体選手でいいのかなと不安な気持ちもありましたが、そんな時監督やコーチの先生をはじめ、たくさんの人に支えられこれまで頑張ることが出来ました。試合当日はいつもなら緊張して自分らしく引けないことが多かったのですが、信頼できる仲間が前に2人もいたからこそ私は安心して自分らしく引くことが出来ました。私が中らない時もいつも支えてくれたチームのみんなには感謝でいっぱいです。

本国体5位入賞という結果を残せたのは、自分たちだけの力でなく、先生方や家族、友人や仲間がいつも支えてくださりそして何よりも応援して下さった方々がいたからです。昨年の近畿ブロック敗退の悔しい思いを今年は晴らすことができ、本国体という憧れの舞台で大好きな人達と大好きな弓道ができたことは本当に幸せでした。本当にありがとうございました。

編 | 集 | 後 | 記

審査講習会報告は、弓道に対する心構え、射技向上に関する吉本先生、須田先生の考え方が伝わる報告です。国体少年女子で5位入賞を果たした監督、選手の喜びの声を投稿していただきました。感動しました。

編集担当 野尻賢司